

5.15

■司会 小森 京子〈佐賀県〉 佐賀県立生涯学習センター事業部企画員
宮内 健二〈高知県〉 高知県教育委員会生涯学習課長

1. 南阿蘇セミナーを中心とした広域事業の展開

14:15~14:40

— 6ヶ町村の連携と相互交流の方法 —

秋山 清二〈熊本県〉 高森町教育委員会社会教育課社会教育係長

南阿蘇6ヶ町村それぞれの生涯学習を推進し、かつ広域的な事業展開を図るための取り組みは15年目を迎える。各町村が特色ある講座を実施、住民は自由に受講できる。大学との提携や講座内容の重複を避ける工夫等、生涯学習推進連絡協議会が取り組んできた相互交流促進の方法、経過、成果と課題について発表する。

2. 福岡都市圏17大学連続公開講座の成果と今後の課題

14:40~15:05

田中 正廣〈福岡県〉 福岡市教育委員会生涯学習部生涯学習課長

第8回全国生涯学習フェスティバル参加事業として平成8年度に開講した。大学の学術研究成果を地域に還元すると共に、市民の高度化・多様化した学習ニーズに応えようとするものである。行政の枠を越えた範囲の大学と連携、各大学の持ち味を生かした幅広い内容と豊富な講師陣による講義を集中的に都心部で受講できるため、市民の好評を得て定着しつつある。具体的な方法、成果と課題等を報告する。

～ ティータイム ～

15:05~15:40

3. 出合いのたまり場「夢講座」

15:40~16:05

— 子どもとの交流を中心とした仲間づくりと社会参加の方法 —

中村由利江〈広島県〉 府中公民館定期活動グループ「夢講座」代表世話人

平成6年4月府中公民館主催講座として発足、3年目に自主活動グループとなり、6年目からは地域団体として活動。主婦と子ども達が公民館を中心に、自然の中での遊びや和紙等を使った遊びを通して交流している。活動の過程で、子ども達の成長が見られ、仲間の社会参加の意識が高まった。地域の中で果たせる役割を検討中である。

4. 球磨ゆめさき大学

16:05~16:30

— ボランティアによる文化の風おこしの取り組み —

恒松 秀行〈熊本県〉 球磨郡須恵村「球磨ゆめさき大学」運営委員

平成8年10月、県内で一番小さい村に文化ホールが完成。このホールの活用を考え、生涯学習の視点から自由大学を発足させた。行政の支援を一切受けない、自主的・自発的なボランティア組織で運営している。現在16歳~84歳までの650名の学生が一流講師の講演を楽しんでいる。設立・運営の方法、成果や課題を発表する。

5. 総括討論

16:30~17:00